MG MASTER GRADE

地球連邦軍攻撃型量産モビルスーツ
RMS-108「マラサイ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

RMS-108 MARASAI

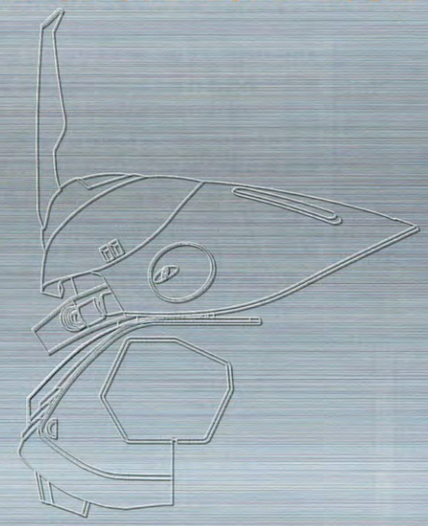
E.F.S.F. MASS-PRODUCED ATTACK USE MOBILE SUIT

©創通・サンライズ

MOBILE SUIT
RMS-108

MARASAI

E.F.S.F. MASS-PRODUCED
ATTACK USE MOBILE SUIT



MG MASTER GRADE

地球連邦軍
攻撃型量産モビルスーツ
RMS-108「マラサイ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。

BANDAI 2012 MADE IN JAPAN

※画像の完成品は、塗装してあります。

0175718

BANDAI

RMS-108 MARASAI

RMS-108 マラサイは、ハイザックの発展型としてAE(アナハイム・エレクトロニクス)社が開発していた攻撃用MS(モビルスーツ)である。ガンダムMk-Ⅱの強奪によって獲得したムーバブル・フレーム技術と、リック・ディアスにも採用されたガンダリウムγ(ガンマ)を組み合わせ、公国系のノウハウを中核に据えて設計された量産型の機体で、ハイザックで問題とされたジェネレーター出力も改善されており、複数のビーム兵器が同時にドライブ可能となっている。操作性はハイザックから引き続き良好で、新兵からベテランまで技能に応じた稼働を可能としているほか、運動性も向上している。使用できる武装も多岐にわたり、一年戦争時に供給されたMS用の標準兵装から最新型のものまで、連邦、ジオン問わず使用可能なドライバーを装備している。まさに、旧世代機とは一線を画する"第二世代MS"を代表する新たな標準機と言える。また、同時期にAE社は、ジムⅡの発展型として連邦系の量産型MS"ネモ"の開発も行っている。スペック的にはマラサイとほぼ同レベルの機体だが、いずれもエゥーゴに提供すべく生産されていた。それは、反地球

連邦政府組織であるエゥーゴは、事実上、連邦とジオンの寄り合い所帯であり、双方に配慮した結果とも言われている。その一方で、これらの機体の生産を通して、共通のムーバブル・フレームによる別モデルの建造トライアルも並行して行われている。また、AE社グラナダ工場におけるマラサイの一次生産分は、エゥーゴへの納品寸前、ティターンズに無償で供出されることとなった。Mk-Ⅱ強奪事案に関与しているとする嫌疑をかわし、なおかつ、ティターンズに恭順する意志を示すためである。その一方で、本来は同じ勢力が運用する筈だった機体が図らずも敵として実戦投入されることとなった。すなわち、同レベルの機体の性能差や運用法、整備ノウハウなどの情報収集とトライアンドエラーを"実戦で"行うことができるのである。"無償"での機体供与は窮余の策であり"損失"そのものとも言える。だがしかし、その後の運用情報収集による"実働データ"は、シミュレーションでは決して得られない貴重なものであり、紛うこと無き後の"利益"となる。マラサイを巡る顛末に関しては、AE社の企業としてのしたたかさこそが最大の特徴と言えるのかもしれない。

MECHANISM

WEAPONS 2門のバルカン砲を頭部に内蔵し、ハイザックと同型のビーム・ライフルと2本の専用ビーム・サーベルを基本兵装としているほか、既存の兵器であれば殆どのものが運用可能。シールドは右肩に固定され、シールドジョイントを介して2枚の防御版がポジションを変えることでフレキシブルな運用が可能。うち1枚はサーベルホルダーを装備する。左肩にはより大型化したスパイクアーマーを装備し、近接戦闘時の攻撃力を向上させている。

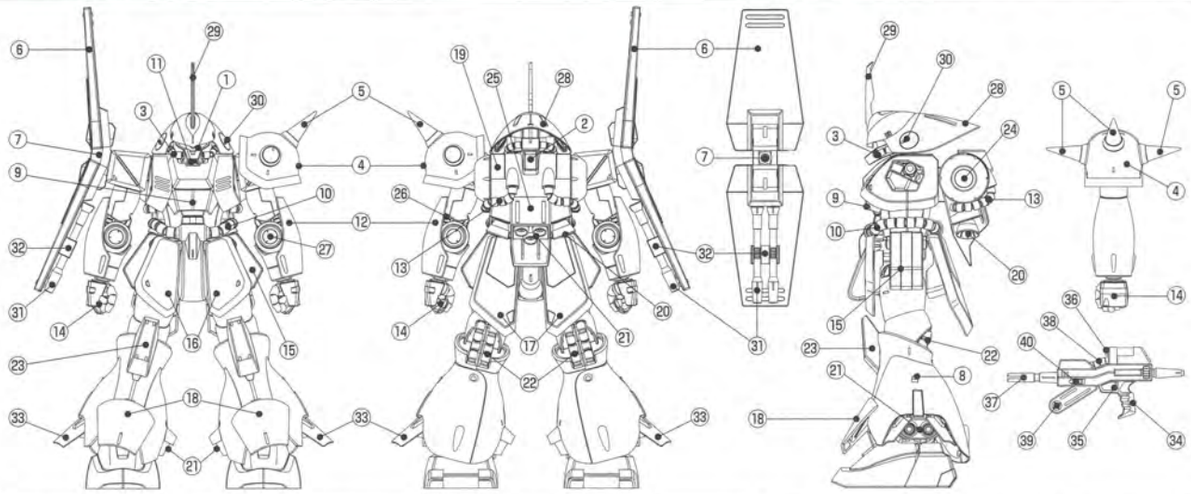
BACK PACK このユニットのみで、かつての高機動型ザクⅡ機分に相当する推力を持つ。大容量のコンフォーマルタンクと2基のメインスラスター、3基のサブスラスターを備えるスラスターポッドからなり、脚部サブスラスターを加え、機体の軽量化ともあいまって高い機動性を獲得している。スペック的にはリック・ディアスや百式などのハイエンド機に勝るとも劣らない加速性能を持ち、重力下でも短時間であれば相応の飛翔能力を発揮することができる。

LEG UNIT ハイザックの構造をベースとしつつ、脚部スラスターは最終装甲内に納めてあるほか、駆動および制御系がムーバブル・フレーム内で完結しているため、プロペラントタンクや推進装置のより合理的な配置が可能となった。そのため、ハイザック用に生産されていた装備品の多くを転用しつつ、さらなる高性能化を達成している。顕著なのが機動性の改善で、基本的には脚部の推力のみで重力下におけるホバー走行も不可能ではない。

HEAD and BODY UNIT

ザク系の頭部構成に加え、バルカンユニットを両サイドに配し、それらを日本の兜の錣(しころ)状のネックプレートで覆っている。バルカンユニットは換装可能で、マイクロミサイルポッドなども検討されていた。通信機能強化用のブレードアンテナはデフォルトで装備されている。一説には、エゥーゴにはジオン出身のベテランパイロットが多かったため、乗り馴れた公国系の機体を指揮官機とする構想があり、ブレードアンテナが標準装備とされたとも言われている。また、高出力のジェネレーターを搭載し、ハイザックでは不可能だった複数のビーム兵器を同時運用できるほか、高度なフレキシビリティを備えた制御デバイスの採用により、同時期の他の機体の武装もほぼそのまま流用することが可能であった。コクピットユニットは共通規格のものを採用している。

Parts and spec RMS-108 MARASAI



① モノアイカメラ	⑨ コクピットハッチ	⑰ リアアーマー	㉕ スラスターポッド	㉝ スラスターパドル
② リアセンサー	⑩ メインパワーサプライヤー	⑱ アンクルガード	㉖ アームパワーサプライヤー	㉞ グリップ
③ ヘッドパワーサプライヤー	⑪ マルチプルダクト	⑲ マウントラッチ	㉗ エルボージョイントアーマー	㉟ トリガー
④ ショルダーアーマー	⑫ アームガード	⑳ メインスラスター	㉘ ネックプレート	㊱ サイトスコープ
⑤ スパイク	⑬ サブパワーサプライヤー	㉑ サブスラスター	㉙ ブレードアンテナ	㊲ マズル
⑥ シールド	⑭ マニピュレーター	㉒ レガースパワーサプライヤー	㉚ バルカン砲	㊳ パワーサプライケーブル
⑦ シールドジョイント	⑮ サイドアーマー	㉓ ニージョイントアーマー	㉛ ビーム・サーベル	㊴ エネルギーパック
⑧ オプションラッチ	⑯ フロントアーマー	㉔ コンフォーマルタンク	㉜ サーベルホルダー	㊵ フォアグリップ

注)"マラサイ"は、エゥーゴへの関与を疑われたアナハイム・エレクトロニクス社が、追及の矛先を逸らすべくティターンズに無償で供出した機体である。便宜的なものではあるが、譲渡後のコードナンバーは"当時の"慣例に従って、連邦軍量産機の"RMS"、グラナダ製の"10"、"8"番目の登録ということで"RMS-108"とされた。メンテナンスや継続生産分に関しては、さすがに無償ではなかったとされている。

⚠ 注 意

必ずお読みください

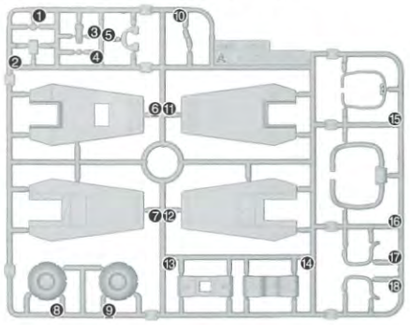
- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

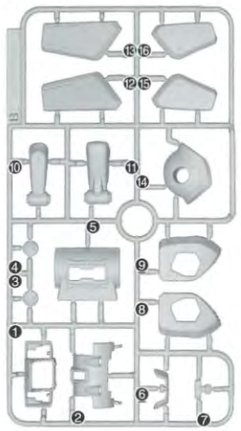
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

パーツリスト （×印は使用しないパーツです。）

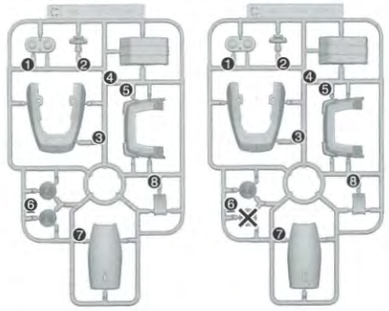
Aパーツ（スチロール樹脂：PS）



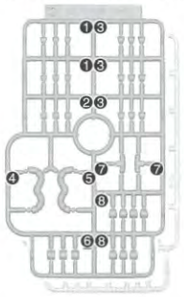
Bパーツ
（スチロール樹脂：PS）



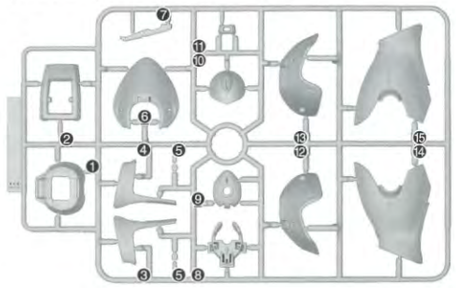
Cパーツ（スチロール樹脂：PS）



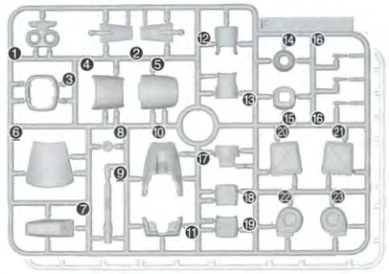
Dパーツ（×2）
（スチロール樹脂：PS）



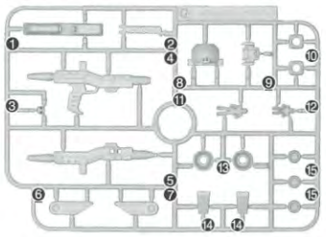
Eパーツ（スチロール樹脂：PS）



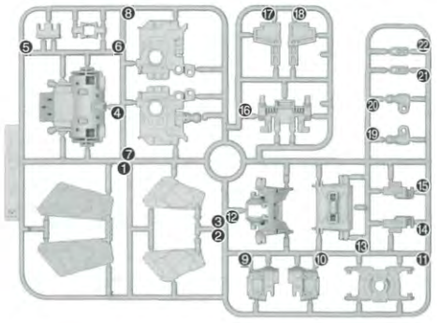
Fパーツ（×2）
（スチロール樹脂：PS）



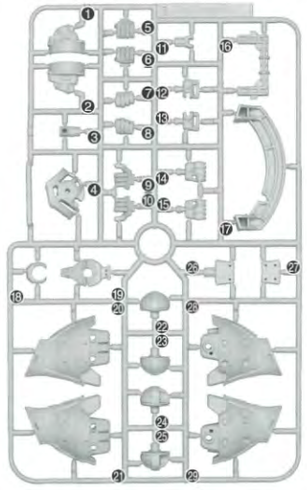
Gパーツ（スチロール樹脂：PS）



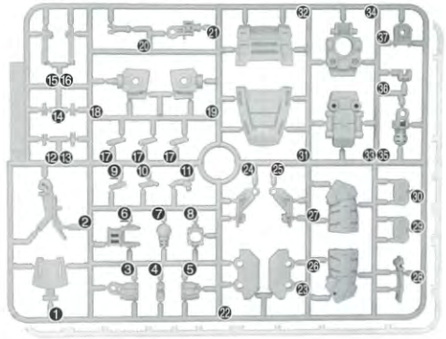
Hパーツ（スチロール樹脂：PS）



Iパーツ（スチロール樹脂：PS）

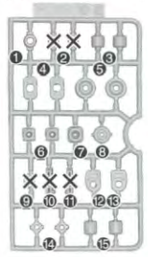


Jパーツ（×2）
（スチロール樹脂：PS）



SB1パーツ（スチロール樹脂：PS）

PC-200パーツ
（ポリエチレン：PE）



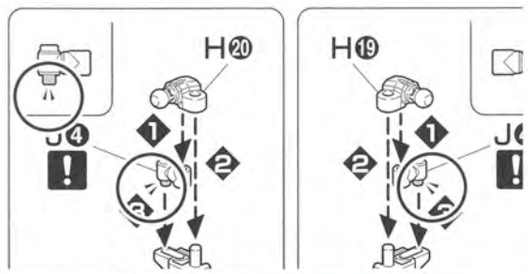
※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

マーキングシール……1枚
ガンダムデカール……1枚

組み立て前の基本説明

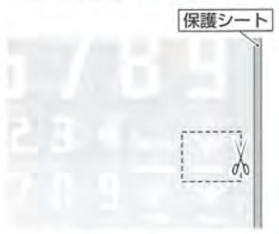
部品の向きに注意してください

※組み立て図中に"!"のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

❶ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

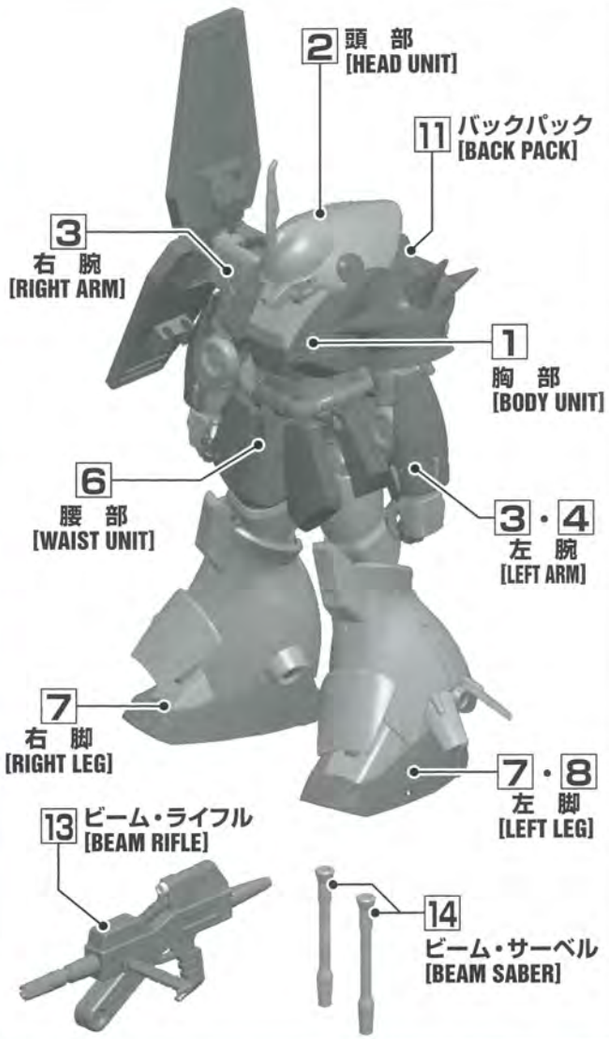


❷保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

❸シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

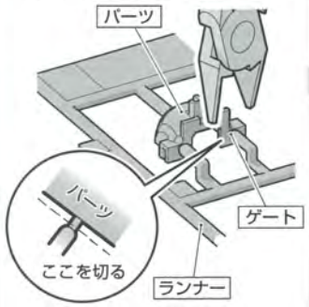
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

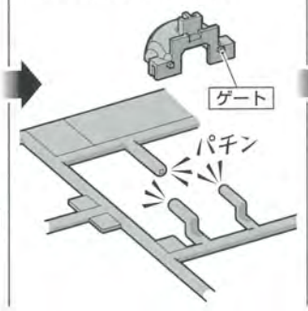


パーツの切り取りかた

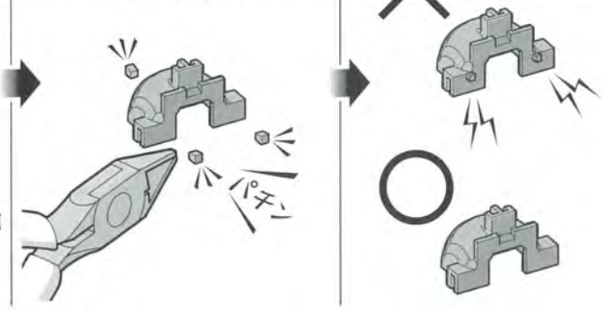
❶まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



❷パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

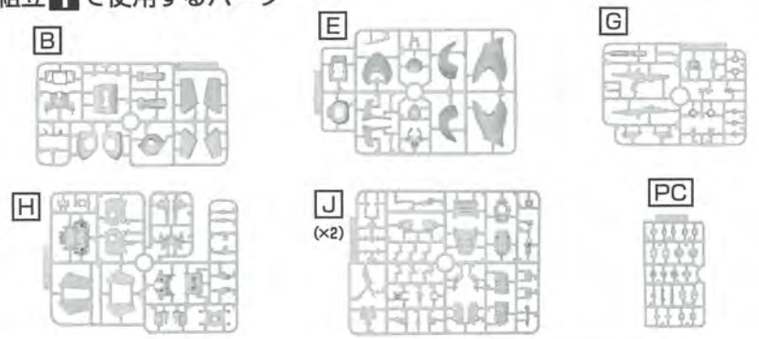


❸ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



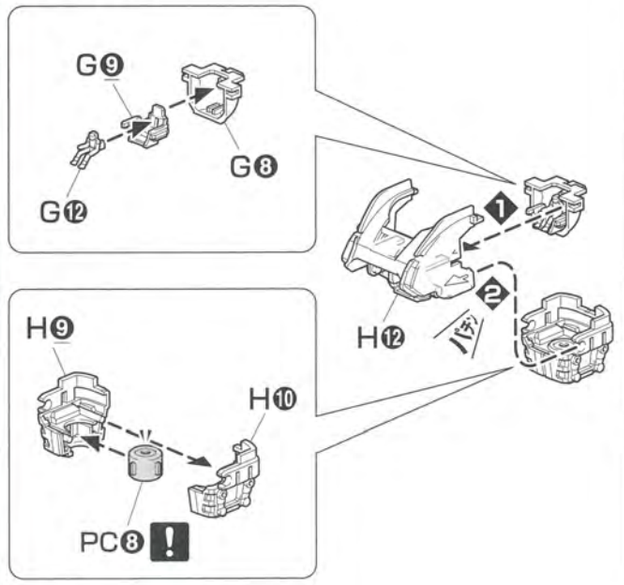
1 BODY UNIT

・組立 1 で使用するパーツ

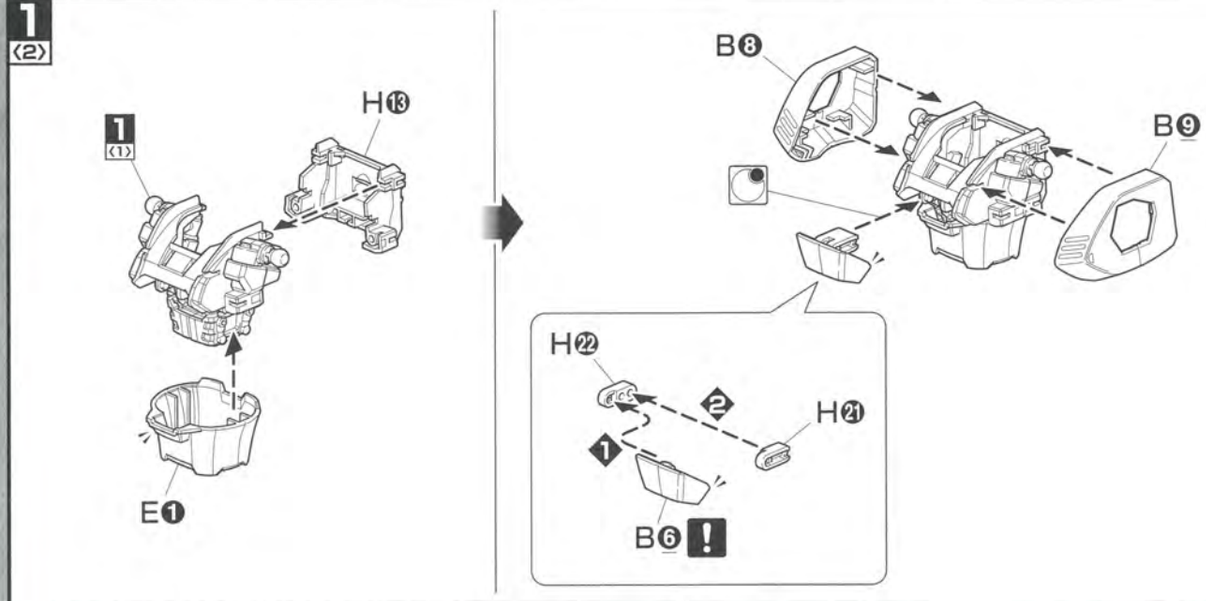


1 〔胸部の組立〕

1 〈1〉 BODY UNIT



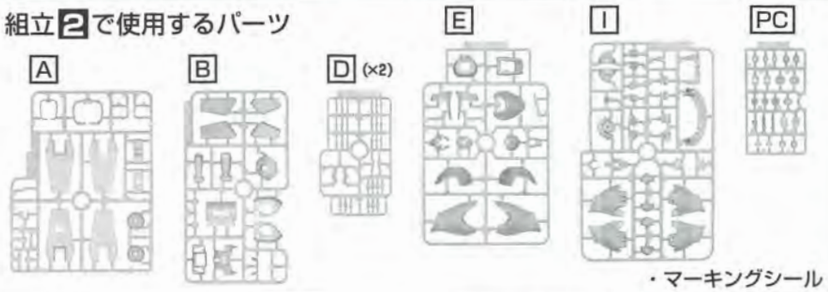
1 〈2〉



※組立図中の記号説明 ! 向きに注意して組み立てる ◯ 先に組み立てる

2 HEAD UNIT

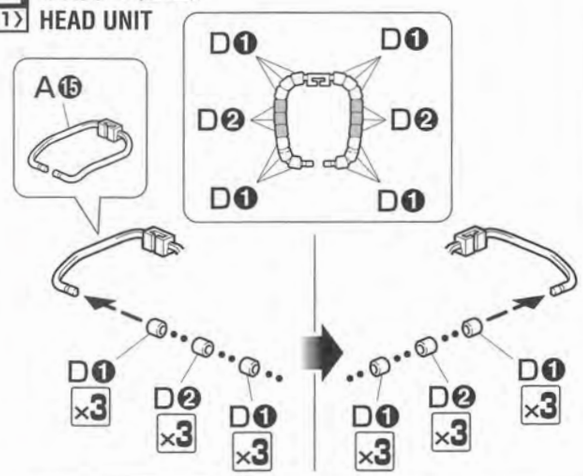
・組立2で使用するパーツ

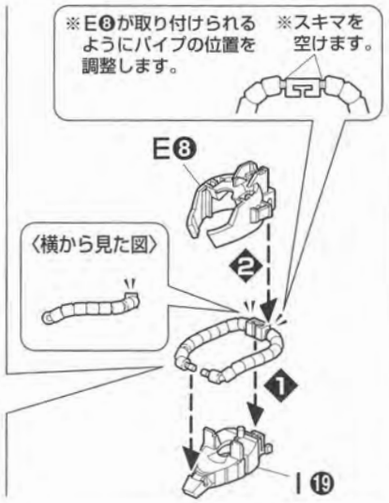


・マーキングシール

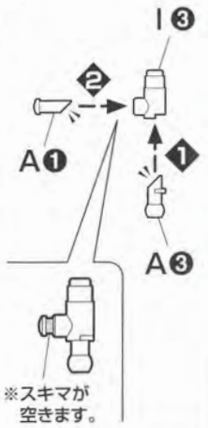
2 〈頭部の組立〉

〈1〉 HEAD UNIT

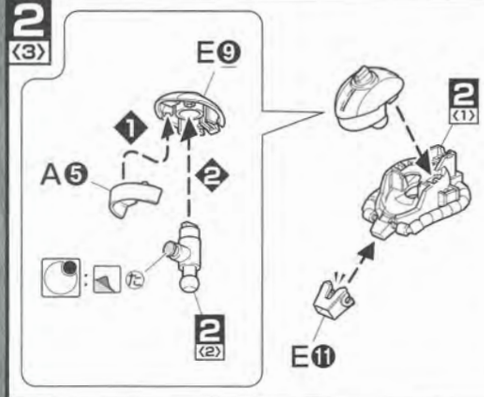


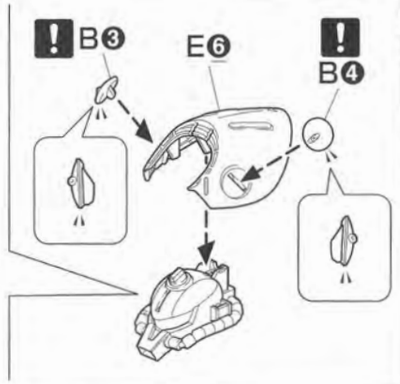


〈2〉

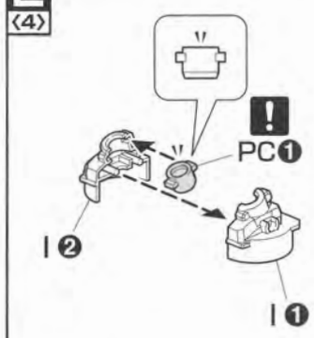


〈3〉

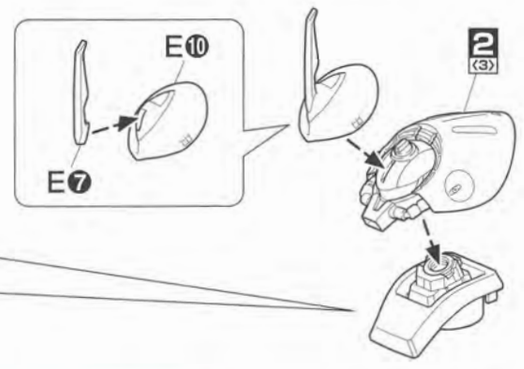




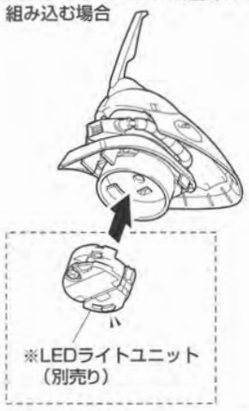
〈4〉



〈5〉



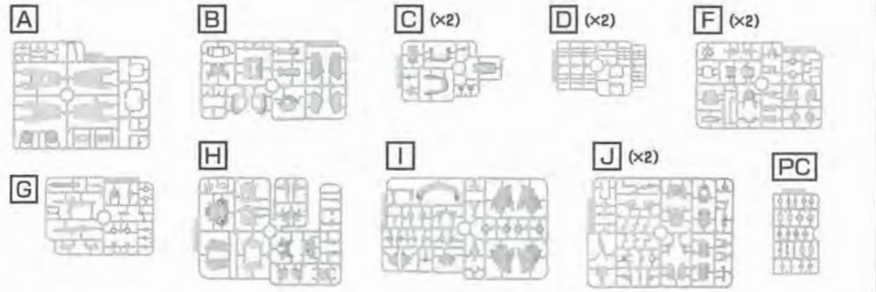
※LEDライトユニットを選択して組み込む場合



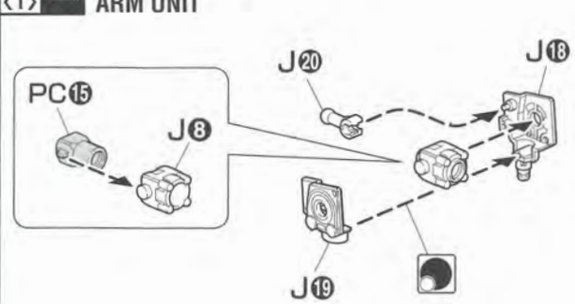
※組立図中の記号説明
×3 部品を数値の個数作る
先に組み立てる
シールの番号
向きに注意して組み立てる

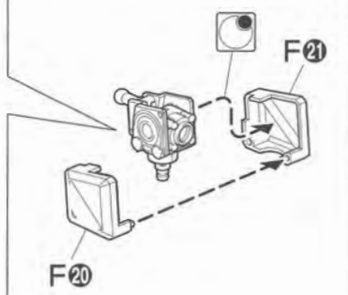
3 4 ARM UNIT

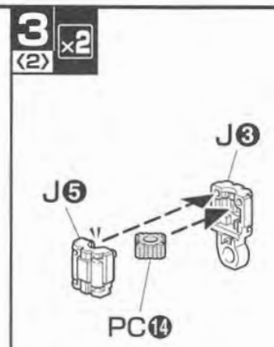
・組立3・4で使用するパーツ



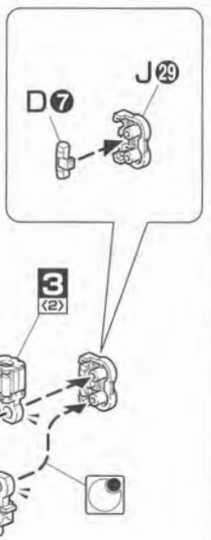
3 ×2 〈腕部の組立〉 ARM UNIT



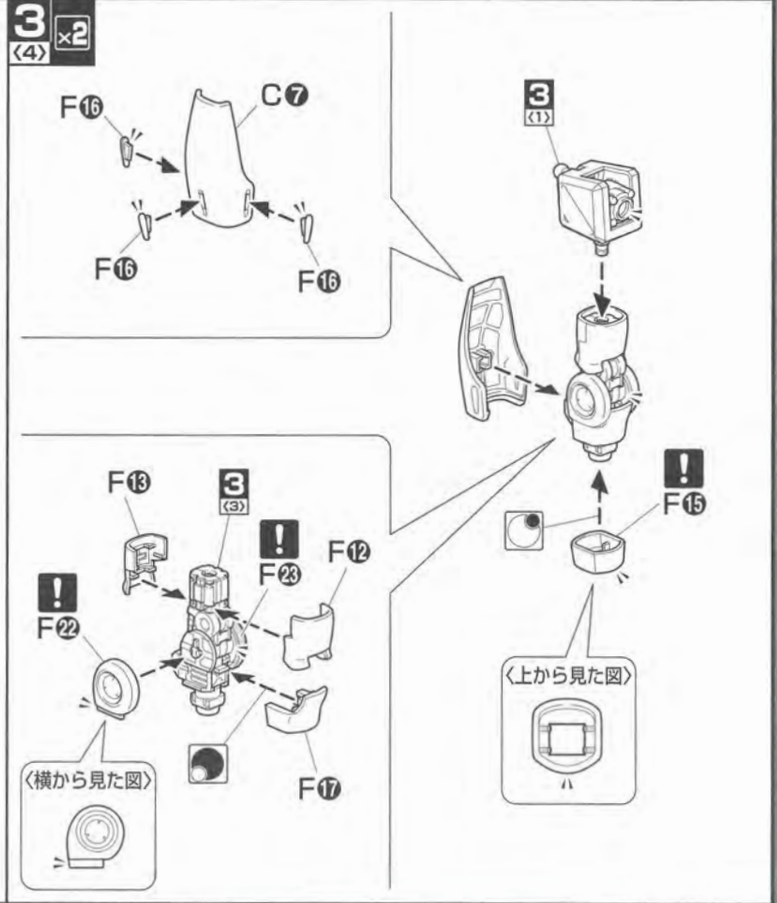




3 ×2 〈3〉



3 ×2 〈4〉



※組立図中の記号説明
×2 部品を数値の個数作る
先に組み立てる
向きに注意して組み立てる
後から組み立てる

The Dark Side of the Moon

「我々はこの工場の強制捜査はしない。銃一発撃たないということだ。その点をメラニー・ヒュー・カーバイン会長にお伝え願いたい」「もちろん今日の分はバスク大佐へのご挨拶ということで、ただでよいと会長から申し付けられております」「ティターンズの世になると読んでいる訳か？」「さあ、そこまでは…」ティターンズのジャマイカン・ダニンガン少佐とアナハイムの専務が互いの肚を探りあうその奥では、新型MSのマラサイが続々とアレキサンドリアに積み込まれていた。数日後、アンマンで着々とジャブロー侵攻の準備を進めるアーガマに対し、アレキサンドリアが攻勢に出る。「ジャマイカンは、マラサイのテストを兼ねた出撃なら許してくれると言っている」「俺に？」「ああ、だから俺の作戦に乗らないか？」カクリコンはジェリドにある作戦を持ち掛ける。「いい加速だ」「もらい物と言っても、バカにはできんかこれ（マラサイ）は……」アーガマの出港に合わせ、アレキサンドリアは長距離ミサイルで出端を挫く。血路を開くべくMS部隊を出撃させるアーガマ。一方、フライングアーマーとの調整のため遅れて出撃したカミーユの前に、ジェリドとカクリコンによるマラサイの連係攻撃が襲い掛かる!!「新型かっ!?」未知の敵と距離をとるべく跳躍するMk-Ⅱ。「行ったぞジェリド!!」「キャッチした、カクリコン!!」縦横無尽に一撃離脱を繰り返すマラサイに翻弄されるカミーユ。果たして!?

The Winds of Jaburo

ジャブロー基地に降下したエゥーゴのMS部隊は、連邦軍の迎撃をかわしながら中枢部へと侵攻していく。攻撃に参加しようとするカミーユのガンダムMk-Ⅱの前に、軌道上から執拗に追撃してきたジェリドのマラサイが立ちはだかる。「ここで会ったが百年目ってね！」しかし、フライングアーマーのホバー機能を駆使するMk-Ⅱに追いつく事ができず先行を許してしまう。基地内に侵入したクワトロ大尉は、ジャブローの抵抗の薄さに疑念を抱いていた。その頃、先行していたアポリーたちは、捕虜から驚くべき真相を聞かされていた。連邦軍はジャブロー基地を放棄して囮としてエゥーゴをおびき寄せ、地下の核爆弾諸共に爆発させようとしていたのだ。クワトロを追ってエリア2に侵入したカミーユは、捕らわれたレコアの気配を感じる。その時、追いすがるジェリドがマラサイでMk-Ⅱと百式に襲い掛かる。「居た!!　ガンダムMk-Ⅱと新型だ!!」百式のパイロットの反応に舌を巻きながらもジェリドは、なりふり構わず、味方を盾にしてまでカミーユを付け狙う。「カミーユッ、カタを付ける!!」マラサイの左腕を撃ち落とされながらも、Mk-Ⅱのエネルギー切れを見て取ったジェリドは、クレバスに落ちたMk-Ⅱに向け、ここぞとばかりにライフルを乱射する。「ライラの仇を討たせてもらうっ!!」機体を立て直したMk-Ⅱとマラサイのビームが一閃、その光軸が重なりあい巨大な閃光となってジャブローの地下空間を染めあげる!!

※画像はイメージです。

JABURO “ジャブロー降下作戦”のさまざまなMSをMGで確認せよ!!

©創通・サンライズ

バリュートパックを装備可能!!

百式+バリュートシステム（別売り）

左　MG リック・ディアス
中央左　MG リック・ディアス（クワトロ・バジーナ カラー）
中央右　MG ネモ
右　MG ハイザック

※上記のプラモデルは別売りです。

MG「百式+バリュートシステム」（別売り）付属のバリュートパックをマラサイに装着してみよう。各部への装着用に追加パーツが付属。　※組み立てていないバリュートシステムが必要です。完成しているバリュートシステムには取り付けできません。

※画像の完成品は、塗装してあります。　※画像と商品とは、多少異なりますのでご了承ください。

PAINTING

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。　※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

マラサイ

- 本体等 オレンジ部の塗装色。オレンジ（40%）+ホワイト（40%）+シャインレッド（10%）+グレー（10%）
- 本体等 レッド部の塗装色。あずき色（90%）+ホワイト（5%）+グレー（5%）
- フレーム等 グレー部の塗装色。グレー（80%）+ブラック（20%）
- 動力パイプ等 グリーン部の塗装色。エメラルドグリーン色（80%）+ホワイト（10%）+グレー（10%）
- ビーム・ライフル等 グレー部の塗装色。グレー（100%）
- 頭部モノアイの塗装色。クリアグリーン（100%）

ティターンズパイロット

- スーツ 紺色部の塗装色。インディブルー（80%）+ブラック（20%）
- スーツ レッド部の塗装色。あずき色（100%）
- スーツ イエロー部の塗装色。イエロー（50%）+ホワイト（50%）+オレンジイエロー（少量）
- ヘルメット バイザー部の塗装色。エメラルドグリーン（40%）+スカイブルー（30%）+ホワイト（30%）
- ヘルメット等 ブラック部の塗装色。ブラック（100%）

■ワンポイントステップ

スミ入れしてみよう!!

ガンダムマーカー／スミ入れ用（別売り）などを使用して、ミゾの所に線を引くことで、模型が引き締まります。

[before]

[after]

▲ 頭部モノアイは左右に可動。

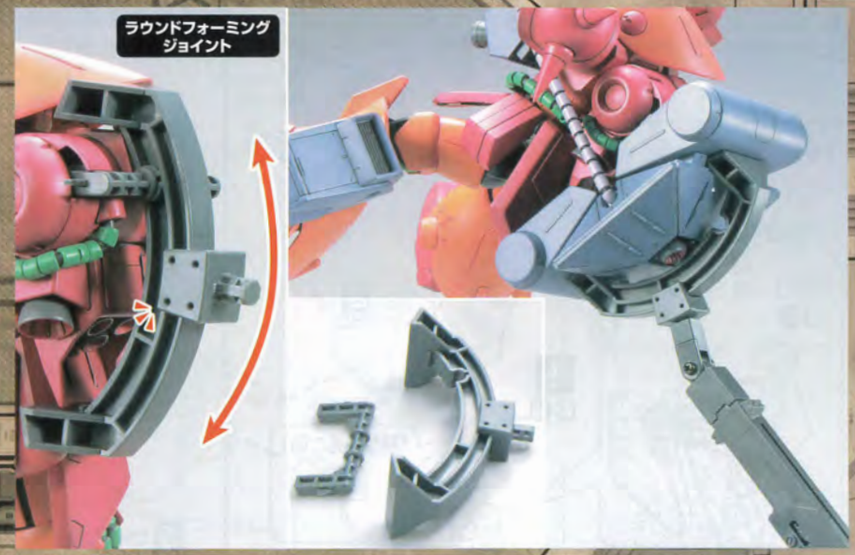
▲ スライド、開閉式のコクピット。内部に着座姿勢のパイロットを再現。

▲ 頭部、腰部等の動力パイプはビーズ状外装で表現。

▲ 脚部のフェアリングなどの可動範囲を大きく確保。

※本商品には「LEDライトユニット」は付属しておりません。

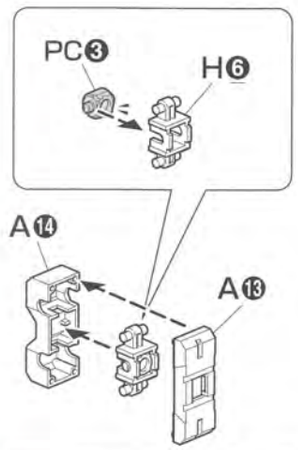
▲「ガンプラ用LEDライトユニット2個セット（緑）（別売り）」を一つ組み込むことで、モノアイ発光可能。



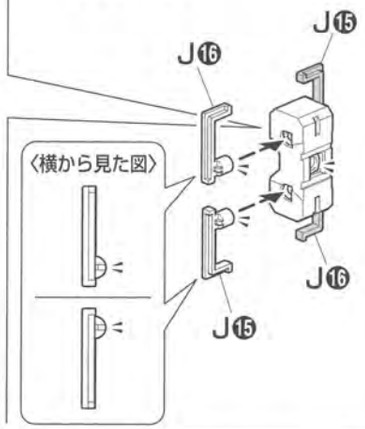
▲「ラウンドフォーミングジョイント」とバンダイプラモデルアクションベース1（別売り）を組み合わせて使用することで、自由落下イメージでディスプレイ可能。

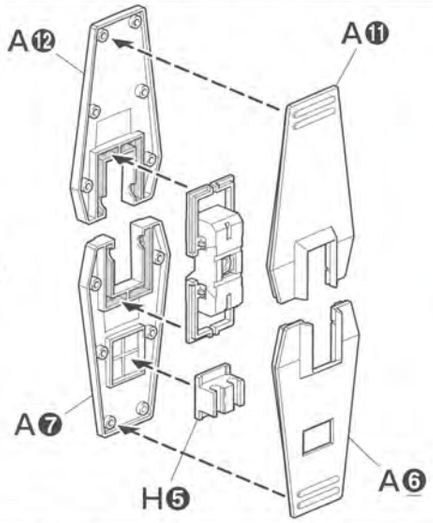
3 〈右腕の組立〉 RIGHT ARM

〈5〉



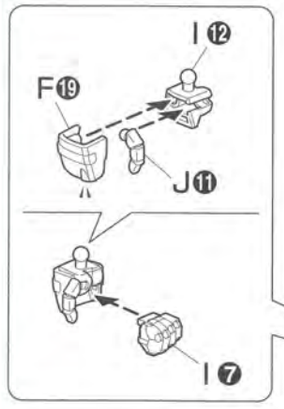
※各部品は、向きに注意して組み立てます。

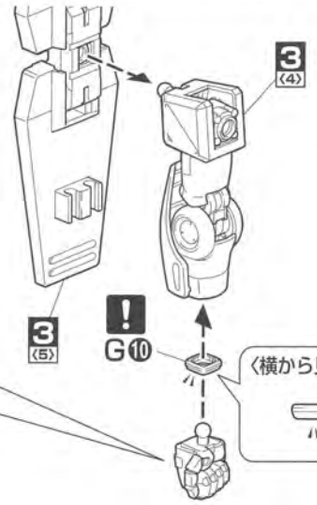




3 〈左腕の組立〉

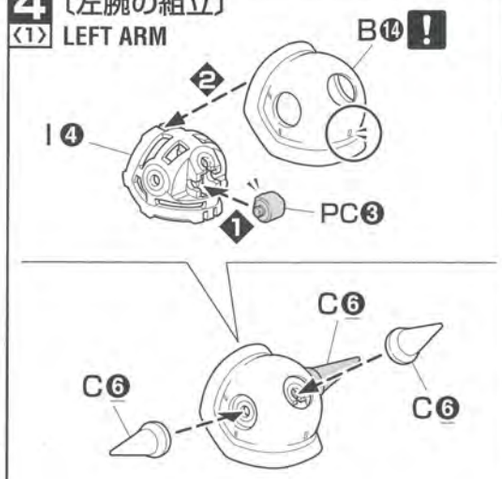
〈6〉





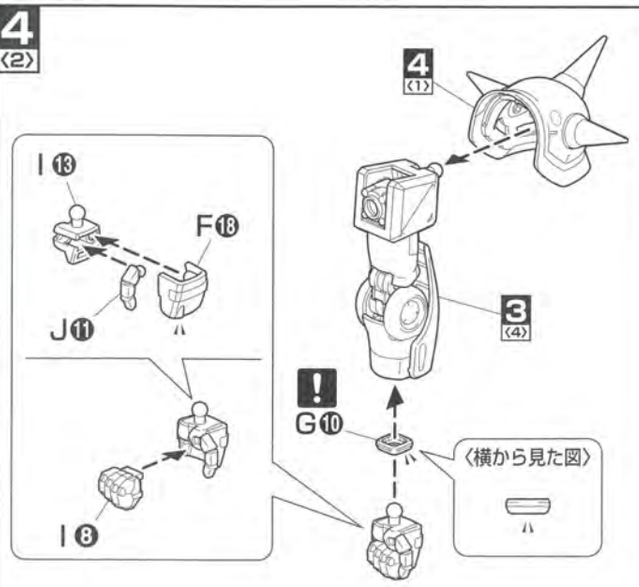
4 〈左腕の組立〉 LEFT ARM

〈1〉

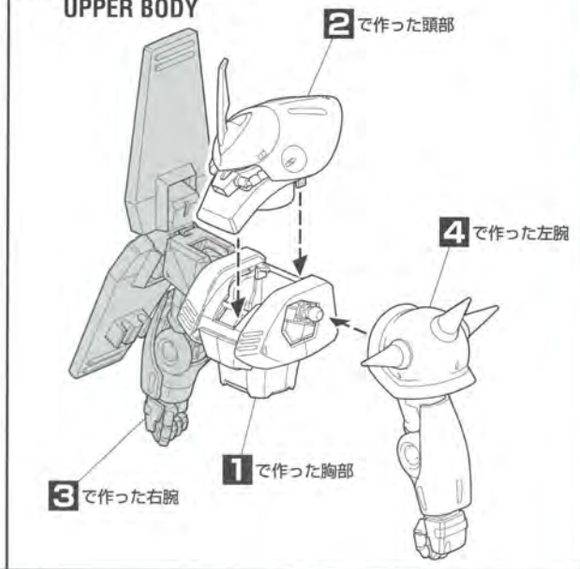


4 〈上半身の組立〉

〈2〉



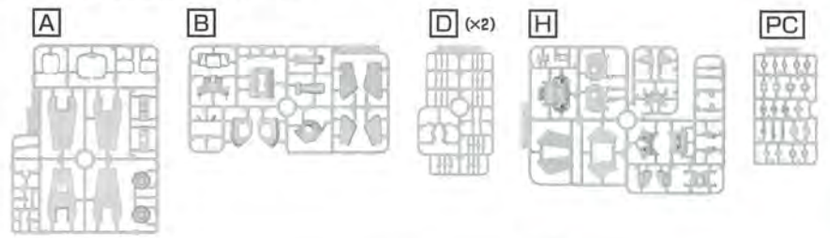
5 〈上半身の組立〉 UPPER BODY



※組立図中の記号説明 ! 向きに注意して組み立てる

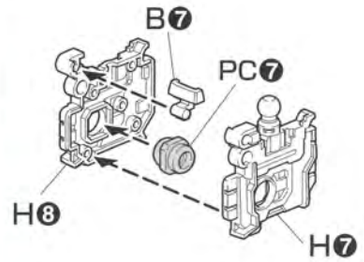
6 WAIST UNIT

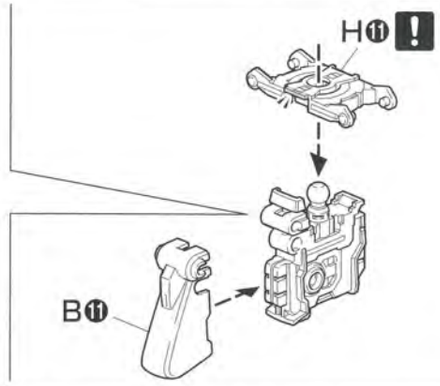
・組立6で使用するパーツ



6 〈腰部の組立〉 WAIST UNIT

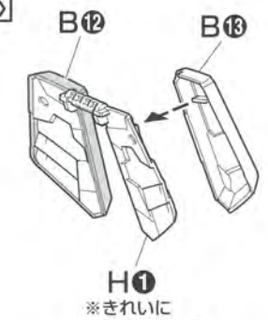
〈1〉





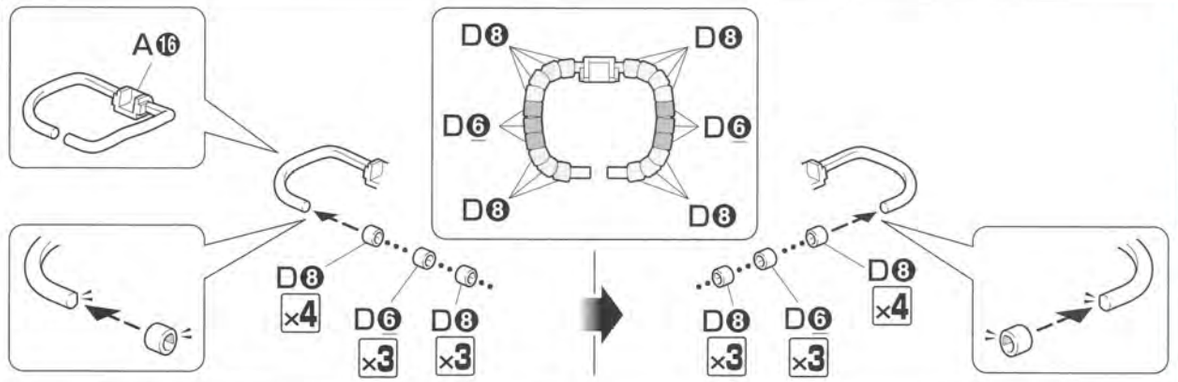
6

〈2〉



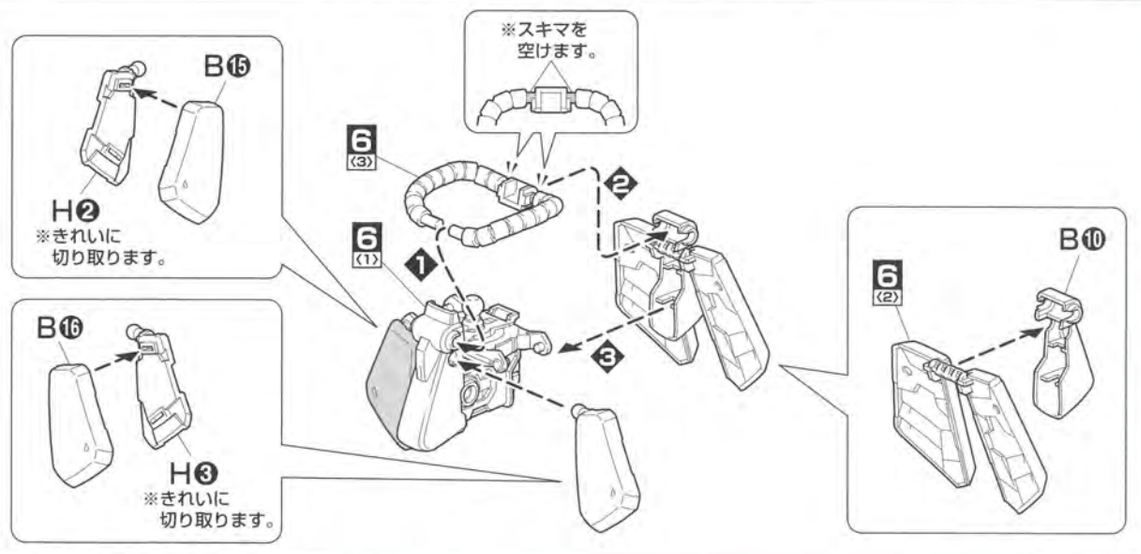
6

〈3〉



6

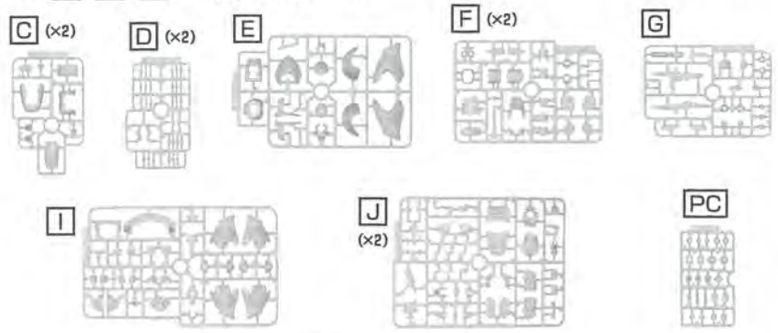
〈4〉



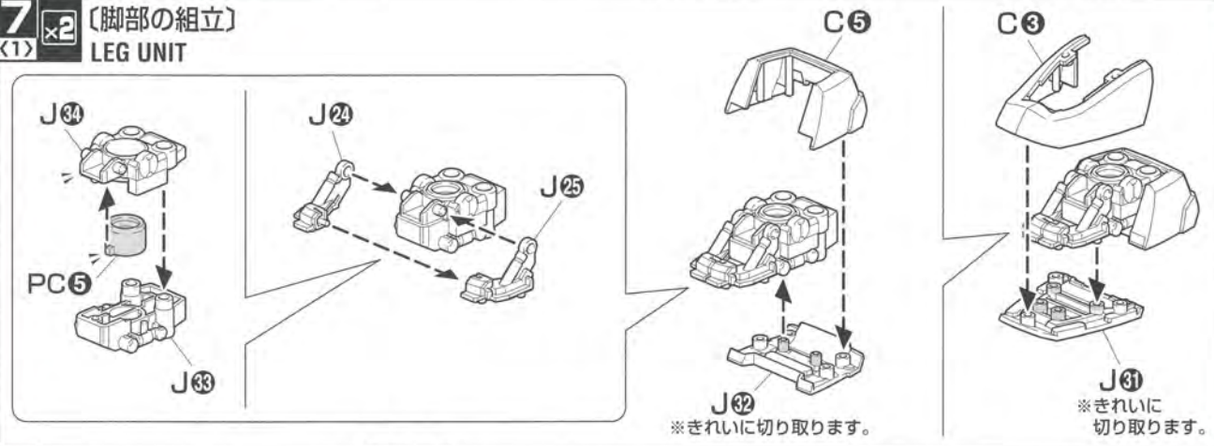
※組立図中の記号説明 ! 向きに注意して組み立てる ×3 部品を数値の個数作る

7 8 LEG UNIT

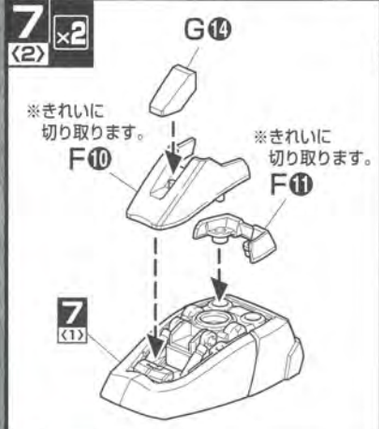
・組立 7・8・9 で使用するパーツ



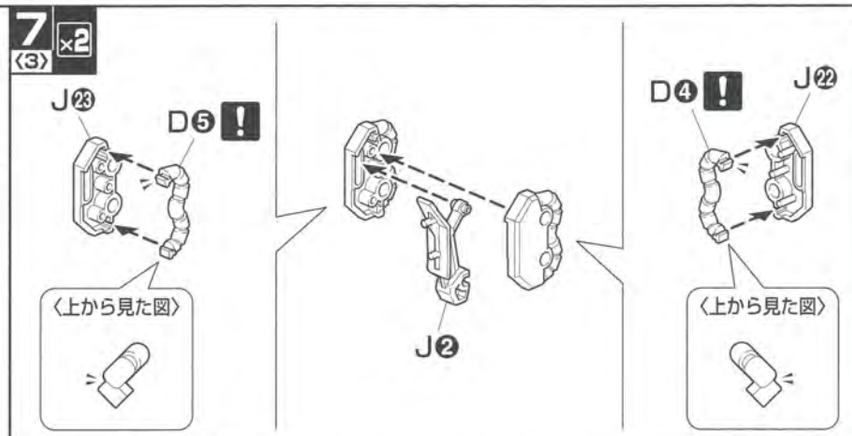
7 〈1〉 ×2 〔脚部の組立〕 LEG UNIT



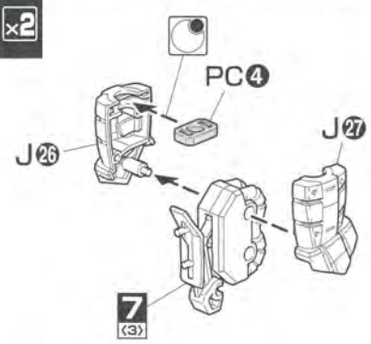
7 〈2〉 ×2



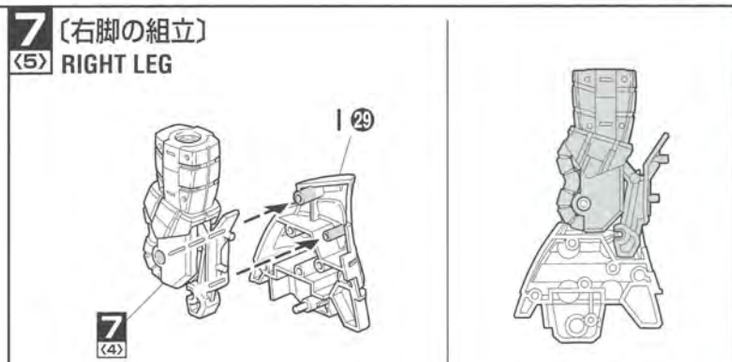
7 〈3〉 ×2



7 〈4〉 ×2

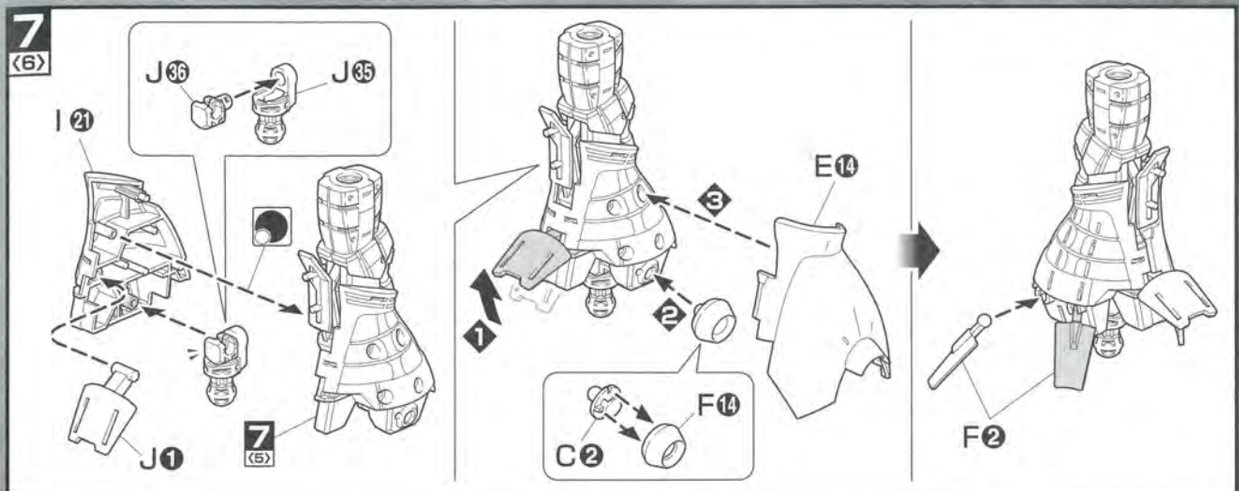


7 〈5〉 〔右脚の組立〕 RIGHT LEG

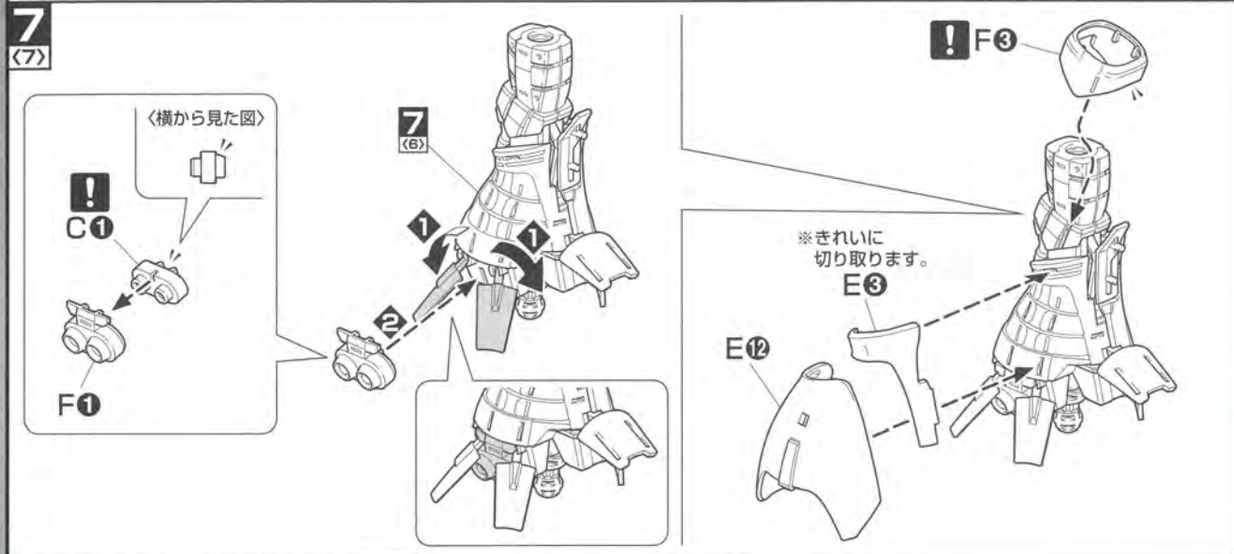


※組立図中の記号説明
×2 部品を数値の個数作る
! 向きに注意して組み立てる
先に組み立てる

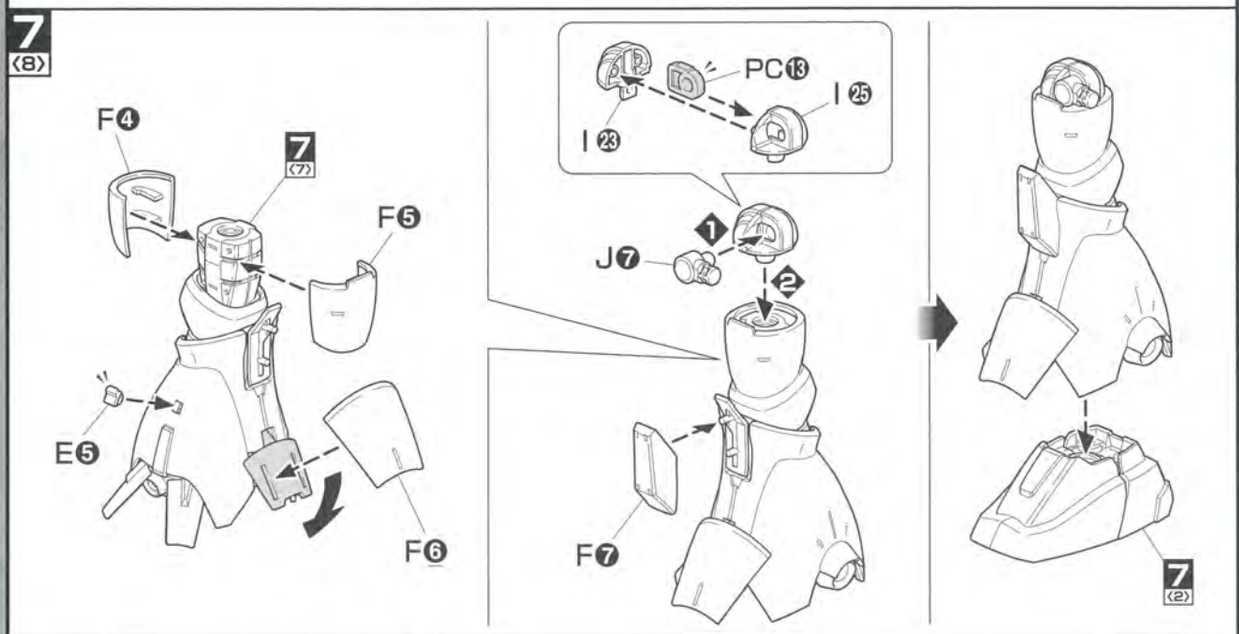
7 〈6〉



7 〈7〉

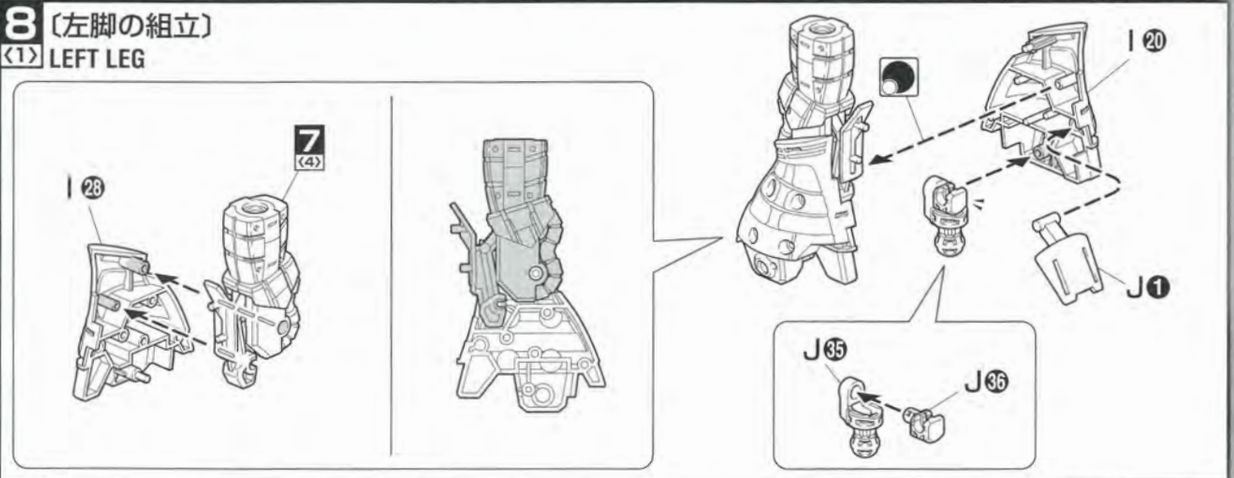


7 〈8〉

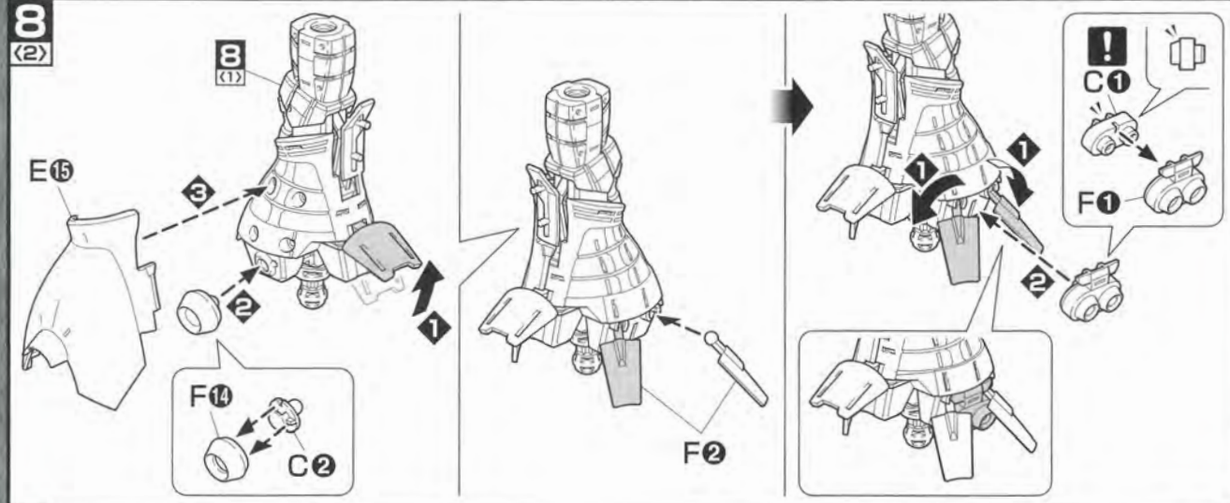


※組立図中の記号説明
後から組み立てる
! 向きに注意して組み立てる

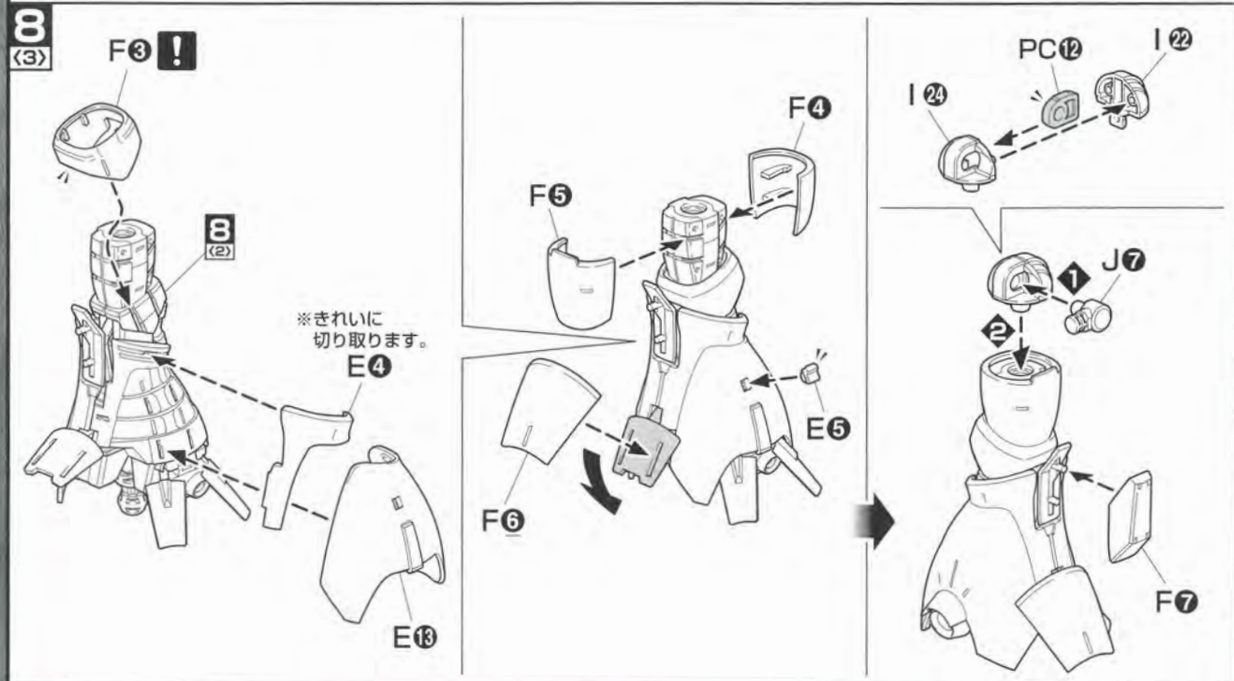
8 〈左脚の組立〉
〈1〉 LEFT LEG



8 〈2〉

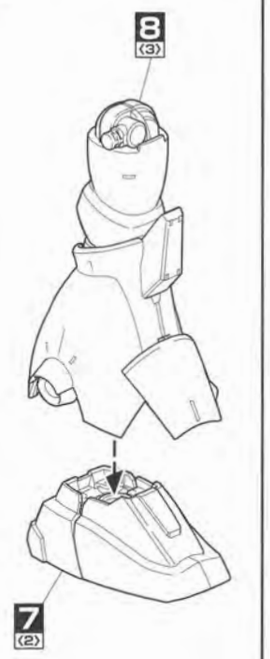


8 〈3〉

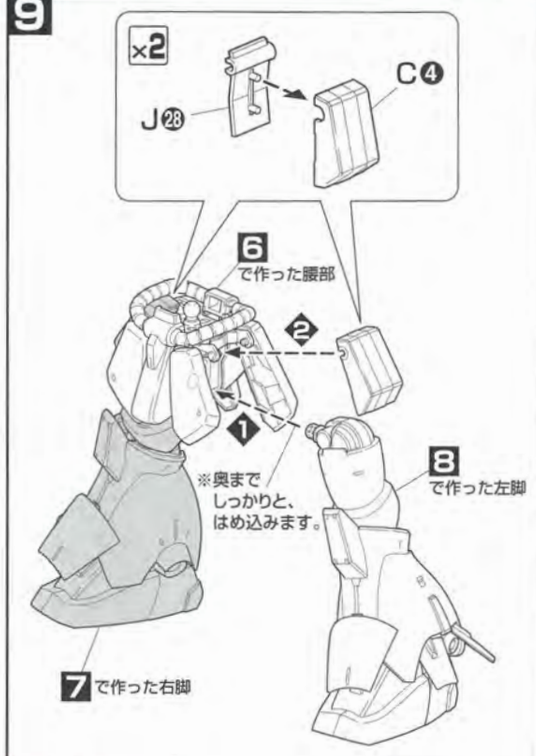


※組立図中の記号説明
後から組み立てる
向きに注意して組み立てる

8 〈4〉



9

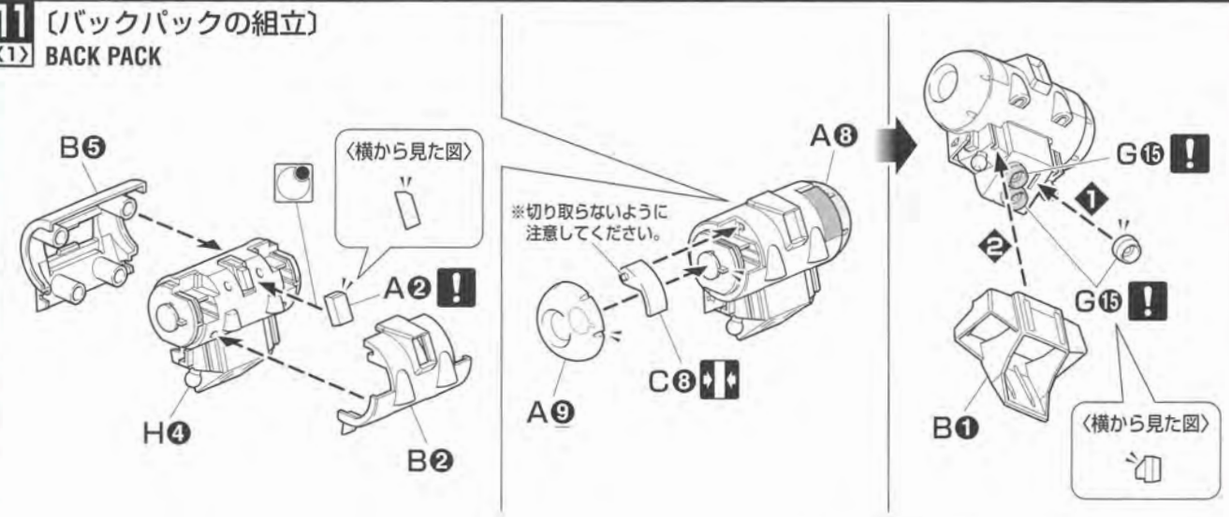


10

11 BACK PACK

・組立 11・12 で使用するパーツ

11 〈バックパックの組立〉
〈1〉 BACK PACK



※組立図中の記号説明
×2 部品を数値の個数作る
先に組み立てる
両側に同じパーツを取りつける
向きに注意して組み立てる

11 〈2〉

D❸ ×9

〈上から見た図〉

A⓲

D❸ ×9

〈上から見た図〉

A⓱

11 〈1〉

G⓭

G⓭

〔完成〕
FINAL ASSEMBLE

※G⓫は好きな所に飾ってください。

12

〈コクピットの開け方〉

〈モノアイの可動〉

I⓫

※バンダイプラモデル アクションベース1（別売り）を使用してディスプレイできます。

13 14 15

・組立13・14・15で使用するパーツ

A

F (×2)

G

I

J (×2)

SB1

13 〔ビーム・ライフルの組立〕
BEAM RIFLE

G❶

G❷

G❹・G❺

A⓾ !

G❸

A❹

G❻・G❼

14 ×2 〔ビーム・サーベルの組立〕
BEAM SABER

F❽

F❾

※組立図中の記号説明

×9 部品を数値の個数作る

! 向きに注意して組み立てる

15 〈1〉

13

❶

❷

※指パーツは外しておきます。

I⓾

I❾ 〈左手〉

15 〈2〉

14

SB1❶

※指パーツは外しておきます。

I❺

I❻ 〈左手〉

15 〈3〉

I⓮

［長］ J⓭ ※ミゾに合わせて組み立てます。 J⓱

［短］ J⓬ ※ミゾに合わせて組み立てます。 J❾

［中］ ×2 J⓮ ※ミゾに合わせて組み立てます。 J⓱

❶ ❷ J⓾ F⓳

※指の長さは3種類あります。確認しながら取り付けてください。

［短］ ［中］ ［長］

15 〈4〉

I⓯

［長］ J⓭ ※ミゾに合わせて組み立てます。 J⓱

［中］ ×2 J⓮ ※ミゾに合わせて組み立てます。 J⓱

［短］ J⓬ ※ミゾに合わせて組み立てます。 J❾

❷ ❶ J⓾ F⓲

※指の長さは3種類あります。確認しながら取り付けてください。

［短］ ［中］ ［長］

15 〈5〉

15 〈4〉 : 15 〈3〉

※画像の完成品は塗装してあります。

15 〈6〉

I⓰ I⓱ I㉖ I㉗

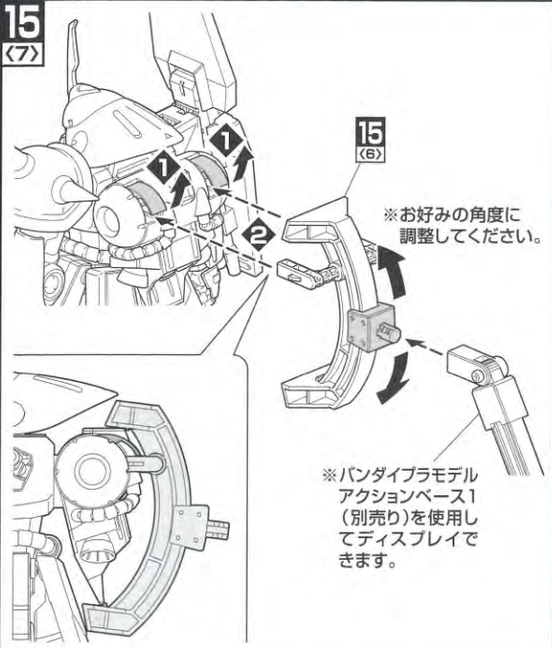
※組立図中の記号説明

反対側に取り付けるパーツ

どちらかを選んで取りつける

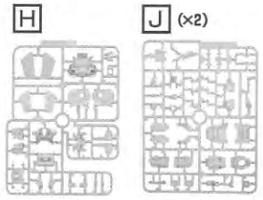
×2 部品を数値の個数作る

15 〈7〉



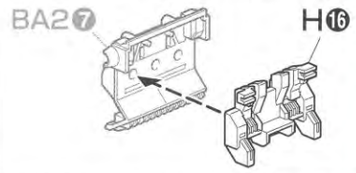
※「NSN-00100百式+バリュートシステム」（別売り）のバリュートシステムに下記の組立を行うことで、「マラサイ」に取り付けることができます。
その場合は組み立てていないバリュートシステムが必要です。

・使用するパーツ
（この商品に入っているパーツ）

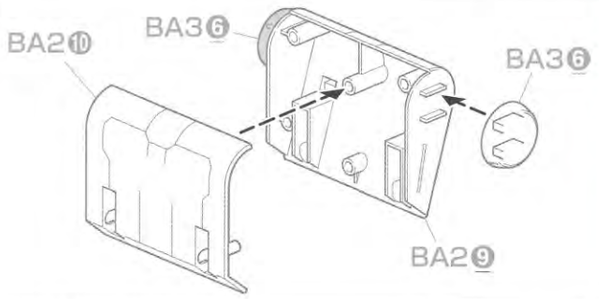


1

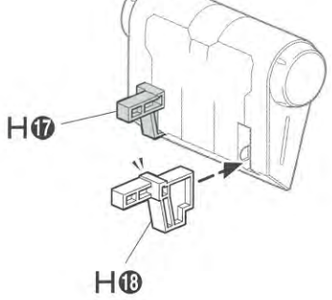
※BA1❼〜❾、⓬〜⓯は使わずに以下の組み立てを行います。詳しくは「MSN-00100 百式 + バリュートシステム」（別売り）取扱説明書をお読みください。



2 ×2

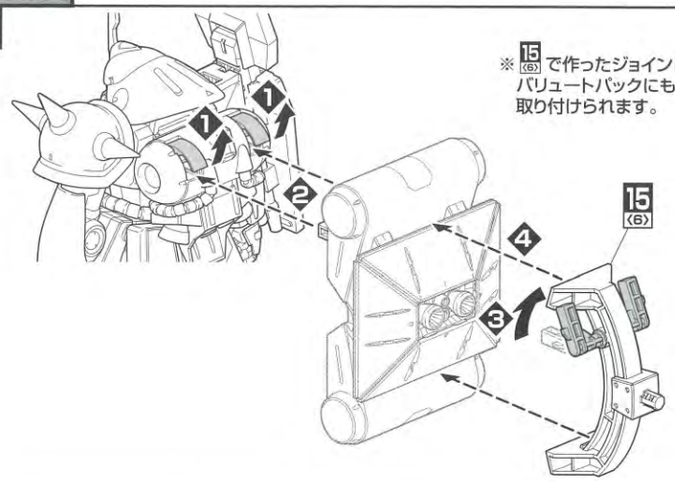


3



4

※ 15 〈6〉 で作ったジョイントは、バリュートバックにも取り付けられます。



5

6

※組立図中の記号説明

×2 部品を数値の個数作る

両側に同じパーツを取りつける

Seal
〈シール〉

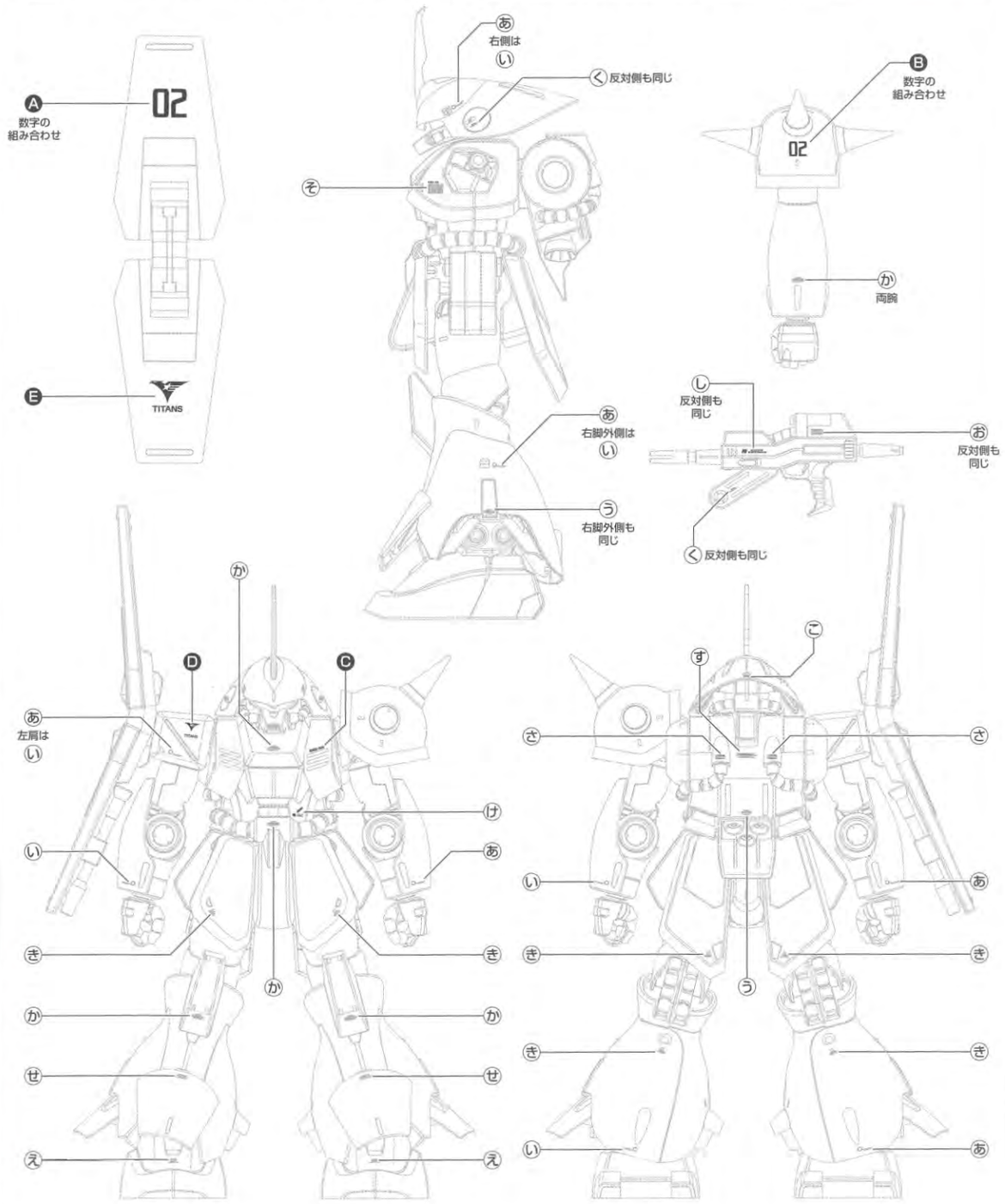
下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

マーキングシールは「ひらがな」、
ガンダムデカールは「英字」で表記してあります。
【例】 あ・・・マーキングシール Ⓐ・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】 ※P06のガンダムデカールの貼り方を参考にあせらずゆっくり貼ってください。

1. 転写するマークを大まかに切ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのものです。貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。